

## 平成30年度第4回府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

### 1 開催日時

平成30年11月30日（金） 午後3時00分～午後5時00分

### 2 開催場所

府中市役所3階 302・303会議室

### 3 出席者

（委員）

村上 明雄	石原 完壽	中村 一夫	木山 政紀（代）		
中山 寿（代）	高山 俊宏	宮口 泰彦	山本 彩人（代）	重長 誠（代）	
松田 学（代）	上田 隆博	若井 紳壮	平田 旭	渡邊 一成	

（事務局）

まちづくり課長	杉島 賢治	まちづくり課都市計画係長	能島 克則
同主任	安藤 昭吾	同主任	信岡 知典
同主任主事	平井 克典		

### 4 欠席委員

西宮 達二

### 5 議事

第1号議案 府中市地域公共交通網形成計画（素案）について

### 6 配布資料

資料1	府中市地域公共交通活性化協議会委員名簿／配席図
資料2	平成30年度第4回府中市地域公共交通活性化協議会-議案
資料3-1	府中市地域公共交通網形成計画（素案）
資料3-2	府中市公共交通網図
資料3-3	課題に対する施策の体系図
資料3-4	平成30年度第4回府中市地域公共交通活性化協議会-説明資料

### 7 傍聴者

5人（別紙傍聴者名簿による）

## 8 議事の内容

○開会

○副市長挨拶

○配布資料の確認

○会長挨拶

【事務局】

○府中市地域公共交通網形成計画（素案）について

事務局より府中市地域公共交通網形成計画（素案）第1章から第3章について説明

【会長】

総合戦略という言葉が出てきたが、計画の位置付けでは、総合戦略の記載が無いので、これは何故か。また、人口世帯数の推移の将来推計の結果が出ているが、総合戦略では、将来人口がどのような推計をしているのか。この二つを教えていただきたい。

【事務局】

第4次総合計画が最上位計画であり、関連している最たるものが総合戦略になってくると思う。総合戦略と連携をとり、整合を取りながら計画を立てて行く。

【会長】

将来の人口減少に対して、総合戦略の中で人口を増やそうというのは考えていないのか。

【事務局】

総合戦略では減少量を抑制する考えではあるが、計画のフレームとしては、社人研の予測を基準としている

【委員】

乗合タクシーの運行エリアで、線が引かれていないのは経路が決まっていないからか。

【事務局】

乗合タクシーは、実際にはデマンドタクシーになるが、上下地域は6地域に設定している。上下地域にデマンドタクシーのおたっしや号6コース運行している。

基本的に上下の中心部なるが、そのエリアが利用できないエリアは徒歩圏内という考え方である。

それ以外のエリアは基本的に区域型のデマンドタクシーを運行している。  
デマンドタクシーは区域運行型ではなく定路線型になるが、諸毛地区、空木地区も定路線型のデマンドタクシーで中心部の方に来る乗合タクシーの形態をとっている。

【委員】

交通結節点の整備というところで H30 値で 3 箇所ということだが、具体的にどこを想定しているのかが一点目。

二点目が補助金の状況など、上位計画の中で定めているのか。

【事務局】

結節点について、3 箇所というのは、元々連携計画の中では、上下駅と府中駅の二点を整理していた。3 点目は、平成 28 年に整備した道の駅、これを結節点と考えて 3 箇所目としている。

補助金と上位計画の関連性については後ほど返答をさせていただく。

【委員】

交通結節点整備で 3 箇所というところで、上下駅、府中駅、道の駅という事だが、道の駅は整備されたということだが、上下駅は整備完了になるのか。

【事務局】

連携計画で 5 年間並びに 10 年間で整備したというよりは、2 箇所あったという書き方が正しい。それに対して 3 箇所に増やす計画にしていってという理解をしていただきたい。

【委員】

交通結節点の整備で目標を達成とあるが、これはどういう捉え方をすればよいのか。目標を定めたのか。

【事務局】

連携計画、総合計画もそうだが、2 箇所だったものを 3 箇所に増やしたことによってまず達成したと捉えていただきたい。

【委員】

箇所数が増えただけで、具体的に何をしたのか。

【事務局】

道の駅を整備したというのは、本来道の駅というのは、郊外型で駐車場を広く取って、マイカーで来られる方を重視している。府中市においては、まず府中駅と出来るだけ近いところに設置したというところで連携を図る、更に言えばバスの結節点。高速バス、市内路線バ

スを出来るだけ結節して行こうと整備したものである。

**【会長】**

時間の関係で1~3章ひとまずここまでにさせていただく。最後に全体を通した中で意見ををお願いしたい。

**【事務局】**

○府中市地域公共交通網形成計画（素案）について  
事務局より府中市地域公共交通網形成計画（素案）第4章、第5章について説明

**【委員】**

デマンドタクシー・乗合タクシーと二通り出ているが、区別はしっかりとした方がよいのではないか。

**【事務局】**

どちらかの表記にすべきだったと思っている。  
現状ではデマンドタクシーという考え方でよいと思う。

**【会長】**

現行のデマンドタクシーというのは、時間とルートが決まっていて連絡があれば走りますというのが乗合タクシー、その定義はしっかり書いた方がよいと思う。デマンドタクシーだと呼んだら来てくれると思われる。

**【事務局】**

デマンドタクシーで合わせる。

**【会長】**

まとめのところで、結節点の上下駅というのが出てきたが、上下駅の説明はあったのか。府中駅はバス停が駅から離れていて屋根も無いという説明はあったが、上下駅の説明は無かった。その点はどうか。

**【事務局】**

加えた方がいいと思う。追加させて頂く。

**【会長】**

公共交通への積極的な利用意思の有無とあって、公共交通を乗って残すべきという回答は、全体の約6割とあるが、年代別のデータはあるのか。  
公共交通を利用しない理由で一番多いのは、自分で車を運転できるから鉄道・バスを必要と

しないと答えている人が4割くらいあるが、この人達は本当に公共交通に乗ってくれるのだろうかというところが不安である。

乗って残すべきと言っている人が全体の6割いくのであれば、それはどの年代なのか。

【事務局】

集計ではそこまでの視点を持っていなかった。次回追加して、年代別の意向というのは再度入れさせていただく。

【会長】

乗って残すべきだというのであれば、どうすれば乗ってくれるのかということを考えていかなないと網形成計画としての意味が無い。

誰に対して何を言っていけば乗ってくれるのかというのが大事だと思う。

分かるようなデータ分析をお願いしたいと思った。

【委員】

自宅からバス停が遠いという事が使わないとあるが、そのあたりについてはまた次の会場で出てくるのか。確認をさせていただきたい。

【事務局】

次回には加える。

【事務局】

○府中市地域公共交通網形成計画（素案）について  
事務局より府中市地域公共交通網形成計画（素案）第6章、第7章、第8章について説明

【会長】

将来像を打ち出して、その将来像を受けて基本方針を出しているが、基本方針の5、先進的な手法により次世代を見据えた公共交通。とてもいいと思うが、どこからこれが出てくるのか分からない。基本方針の1～4は課題解決型で、第5章のところまでアンケートをとり、現状を分析して結果、課題の方向になっている。「基本方針の5」は先を見据えたというところもあるので、将来像の下に一つ目が市の目指す姿、二つ目が公共交通の果たすべき役割、三つ目に交通を取り巻く技術核心という項目を入れる方がよいのではないか。

将来を見据えるとこれだけ技術が革新するという項目を入れて「5」に繋げれば、まとまるのではないか。

【委員】

一点目、利用意識を高めて、乗り方教室や意見交換会を行うことで、利用者数に繋げるといふところかと思うが、結果に繋げるのはかなりハードルは高い。利用者アンケートを活用

して満足度や今後も利用したいという意見を目標にしてもよいと思う。

二点目は、少し気になったのが、福塩線における観光列車等の運行というところで、福塩線の利用啓発を進めるところだが、各市町での取り組みもあると思う。

福塩線対策協議会があるので、取組みについては府中市ではなく福塩線対策協議会の方がよいのではないか。

#### 【事務局】

一点目については、指摘の通り整理をしていきたい。

二点目の観光列車については、福塩線対策協議会において4市町合同で福塩線の府中～三次間、府中～上下間が今だに通れなくなっている関係も含めて要望に行った。

協議会で利用促進の取組。例えばワイン列車であるとかそういうものも協議会の中で今後やっていったらどうかと内部で話をしたところである。要望の中で、雑談であるが話しをさせていただいたところである。

今後、発展させていけたらと考えている。

事業主体の表現を府中市ではなく、福塩線対策協議会に変えてもよいか。

#### 【委員】

全くおかしく無いと思う。

むしろ、内容にリンクするような形がよいのではないか。

#### 【事務局】

近隣市町と提携させていただく。

#### 【会長】

全体的に実施主体のところを見直すこと。

#### 【事務局】

次回までに修正する。

#### 【会長】

全体を通じて意見はないか。

④観光客へのわかり易い交通観光情報等で別に観光客にこだわらなくてもわかり易い交通情報の提供でよいのではないか。その中で観光客、住民の方々にした方がより広くなるので、あまり観光客にこだわらなくてもよいと思う。

アンケートの結果の中で、バスがいつ来るのかわからないという不満の声が高いというのがあるが、それに対して何をするのかというのがよくわからない。

中国バスもバスビジョンという運行時間がわかる様な情報提供を発していると思う。

そういうのをもう少しPRするとか、雨の日や渋滞があると遅れてしまうので、何分くらい

遅れそうなのかと情報提供ができるような取組がよいと思う。

【事務局】

スマホやペーパーでもよいが、連携できる事を考えていければいい。スマホであればジャンプできるようなものを考えるなど運行事業者さんとも考えていけたらと思う。

【委員】

道の駅のバスロケーションシステムも有効ではないのか。

【会長】

病院にはついているのか。

【事務局】

病院と道の駅はついている。

【会長】

病院もついていると入れた方がよいのではないか。

それから、事業⑤の効率的なバス路線の見直しで新ルートにしますというのはわかるが、バスが通れる道路はあるのか。

【事務局】

ある。

【会長】

後は運用の問題でよいのか。

また、事業②の「広島空港を結ぶ高速バスの検討」で高速バスに乗る必要があるのか。

【事務局】

時々要望を頂く事はある。

どれだけいるのかというところは今後整理していかないといけない。

その中で出張であるとか、観光も利便性があがるのであれば積極的に考えていきたい。

【会長】

高速バスというのは難しが、例えば乗合タクシーで出来るのかもしれない。高速バスという具体的な手段を書かない方がいいのではないか。

企業もたくさんあるので、空港を直結して欲しいという要望はあると思う。空港を直接結ぶ交通手段の検討ではどうか。

**【委員】**

目標達成状況において、「目標⑨ 公共交通の利用促進に向けた多様な機関との連携」の達成状況の指標が「観光目的のバス利用者で飲食店等を訪問した観光客数」とあるが、観光客でも飲食店は食事のときにしか行かないと思われる。目標達成状況の指標として適切なのか。

**【事務局】**

数字で示すのがよいのか、満足度のようなもので示すのが良いのか再考させていただく。

**【会長】**

今回の8章の章立てでの素案をもとにし、今後細部の修正を行い、案を作成する方針で承認される方は挙手をお願いしたい。

(委員同意)

挙手多数ということで、可決する。

○閉会